

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要			段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					新興感染症対策体制整備事業					保健福祉部	保健所健康政策課
			中事業番号		1817								所属コード	215300
政策体系			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図(目的)	
大綱(取組)	Ⅳ「誰もが地域で輝く未来」		3.3 4.3 17.17		5-3		○	○				新興感染症対策として、感染管理認定看護師を育成する二次救急輪番病院に対して、その就学に要する資金の一部を補助するとともに、感染対策に関する市との協働や相互の情報の共有を図るため、市と感染管理認定看護師において、ネットワーク会議を開催する。	新興感染症に対応する人材を育成・確保し、医療体制を整備する。	
施策	4 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち													

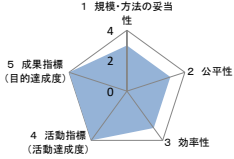
事業開始時周辺環境（背景）			現状周辺環境			今後周辺環境（予測）			住民意向分析		
新型コロナウイルス感染症の流行は、社会的な活動に多大な影響を及ぼすだけでなく、地域の診療や入院をはじめとした医療体制をひっ迫させた。特に、専門的な医療人材の不足は顕著であり、新興感染症に対応した医療提供体制を整備する中で、その中核となる人材を育成・確保する必要が高まっている。			新型コロナウイルス感染症は、感染症法上5類に位置付けられたが、今後においても集団感染（クラスター）の可能性が続いている。さらには、救急医療を担う二次救急輪番病院においてもクラスターが発生し、診療及び入院受入機能の低下など、救急医療体制がひっ迫する事態となったことで、病院内での感染対策の徹底など、感染対策に専門的な知識や技能を有する人材のさらなる確保が喫緊の課題となった。			2023年度策定の福島県第8次医療計画において、従来の5疾病5事業の取り組みから、新たに6事業目として「新興感染症対策」が追加された。これにより2024年度より、平時と感染拡大時の取り組みを強化していくこととなった。中でも、全国的に不足する感染症に関する専門的な知識と技能、経験を有し、最前線で主導的かつ中心的役割を担う人材（感染管理認定看護師）の育成と確保が急務である。			2024年度版の市民意見リーダーでは、満足度の2位、これから重点的に取り組んでほしい分野の7位に「医療」が挙げられ、住民の満足度が非常に高いだけでなく、質の高い医療の提供を継続的に求める需要があり、それを支えるための医療従事者の育成と確保、医療体制の継続的な整備が重要となっている。		

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	感染管理認定看護師登録者数（全国）	人		3,075		3,312		3,639								
活動指標①	感染管理認定看護師重点育成支援事業補助金申請	件	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
活動指標②	感染管理認定看護師就学支援事業補助金申請	件	0	0	4	1	6	3	4	4	4	4	4	4		
活動指標③	ネットワーク会議の開催	回	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
成果指標①	感染管理認定看護師登録者数（市）	人	7	7	8	6	9	7	9	9	10	10	10	10	7	9
成果指標②																
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	感染管理認定看護師の育成1名あたりのコスト	千円		283		545		450		466		419		419		
単位コスト（所要一般財源から算出）	感染管理認定看護師の育成1名あたりのコスト	千円		283		331		450		305		305		305		
事業費		千円		1,239		1,824		2,523		2,746		2,746		2,746		
人件費		千円		744		1,451		626		1,451		1,451		1,451		
歳出計（総事業費）		千円		1,983		3,275		3,149		4,197	0	4,197	0	4,197	0	
国・県支出金		千円		0		1,286				0		0		0		
市債		千円		0												
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		0												
その他		千円		0												
一般財源等		千円		1,983		1,989		3,149		2,746	0	2,746	0	2,746	0	
歳入計		千円		1,983		3,275		3,149		2,746	0	2,746	0	2,746	0	
実計区分			評価結果	新規	継続	拡充	継続	継続	継続	継続						

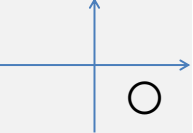
活動指標分析結果			成果指標分析結果			総事業費（事業費・人件費）分析結果		
新興感染症対策整備事業として、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染者数の状況やその他感染症に関する情報を共有することを目的に、計画通り1CNネットワーク会議を年2回開催した。 また、感染管理認定看護師就学支援事業については、市内の病院に対して更なる周知を行ったことと、事業開始から2年が経過し、補助事業が浸透してきたこともあり、目標値とおり2名から申請があった。			新興感染症に対応するため、最前線で主導的かつ中心的な役割を担う感染管理認定看護師の配置数は、令和5年度は6名であったが、令和6年度については、当該事業の補助金を活用し、新たに感染管理認定看護師となった1名の追加があり7名となったものの、計画値9名に対し2名少ない結果となった。			【事業費】新興感染症対策整備事業費 補助対象者は、令和5年度は2名だったが、令和6年度は3名に増えたことから事業費が前年度より上回った。		
						【人件費】 当該補助申請の申請件数が見込みより少ない件数であったことから、事務等に要する時間等が減少したことから、前年度より人件費が減少した。		

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



(2) 事業継続性評価		
代替事業（有）		
ニーズ（小）		ニーズ（大）



継続	一次評価コメント
本事業は感染症に関する専門的な知識を有する感染管理認定看護師（1CN）を育成し、医療体制を整備する事業である。 令和6年度は、前年度から支援している1名に加え、新たに5名を支援することとし、計画値6名に対し、計画値の半数である3名の支援にとどまった。 また、市内の7名の感染管理認定看護師が感染状況や感染対策の情報を共有するため、ネットワーク会議を年2回開催し、意見交換を行った。 本市は、市内における感染管理認定看護師を14名配置することを目標としており、今後においても引き続き感染管理認定看護師の就学支援に努める。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）


気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



(2) 事業継続性評価		
代替事業（有）		
ニーズ（小）		ニーズ（大）



継続	二次評価コメント
令和6年度は、感染管理認定看護師等と情報共有を図るネットワーク会議を計画どおり2回開催し、感染症対策の状況等について意見交換を行った。感染管理認定看護師就学支援事業補助金の申請は3件（2か年度での申請であるため、新規申請人数は2名）であったものの、当該事業の補助金を活用し、新たに1名の感染管理認定看護師の追加があったことで市内の登録者数は7名となったところである。 感染管理認定看護師の育成期間は2年間で、人材確保は中長期的に取り組む必要があることから、当該事業を活用する看護師の増加に向け、効果的な周知方法を検討しながら、継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画